

☎  
応報

# たまかわ

'92

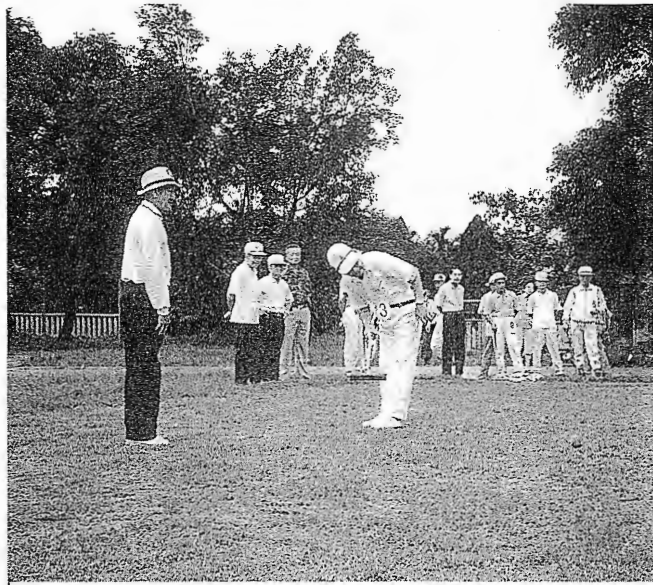
10

No. 314

練習では、うまく走れたのに  
転んじやった。  
それでも、必死に走る。  
ひざっこそうをすりおいたって  
きれいな服がよくれたって  
ゴールをめざして一生懸命。  
一度や二度の失敗で、すねる。  
なげやりになる。  
すっかり落ち込む。  
そんな大人とは、やっぱりちがう。  
転んでも、「一生懸命の君を  
見ていると心が熱くなる。



(9月20日すがま幼稚園運動会)



### スポーツ交流

参加者(7人)	小林 富重	小山田 義美	塩田 豊次郎	大竹 金一	神枝 安子	小林立	引率者	鈴木 孝
---------	-------	--------	--------	-------	-------	-----	-----	------



小林 富重さん (中)

#### 「和気あいののゲートボール 1勝1敗で引き分け」

我々のゲートボール交流は鹿谷国民小学校で、地元の方々と試合を行いました。ルールは全く日本と同じで、技術も素晴らしいです。試合結果は2戦して1勝1敗。もう少しやりたかったのですが、雨のためやることができずでした。

昼食をとりながらの懇談の中で福祉関係について質問したところ、年金や恩給制度は無く、老後の生活は自分たちの子供にゆだねること。また、小遣いは、田畑の手入れや果樹等の収穫のアルバイトをして稼ぐそうです。日本で暮らす我々は幸福だと感じました。

交流していくには費用がかかると思いますが、今後もこの研修を続けて欲しいと思います。

# 41人が友好を深める

8/31 ~ 9/4

鹿谷郷へ海外派遣研修



鹿谷郷公所前で

玉川村から鹿谷郷への海外派遣研修が平成4年8月31日から9月4日までの4泊5日の日程で行われました。今回の研修は、日華親善友好都市提携推進協議会とふるさと創生海外派遣事業を合同で行い、円谷助役を団長に総勢41人が参加。老人グループではゲートボールで、婦人グループではダンスで、産業グループでは農業を中心に、また、教育グループでは学校を訪れての研修と4班に分かれて交流を図り、友好の絆を深めました。各グループ代表の方の感想から交流の様子を紹介します。各グループごとの交流は、訪問2日目の9月1日に、それぞれの会場に分かれて行われました。



「カンペイ」は楽しい?

### 婦人交流

参加者(10人)	佐藤 ハツコ	塩沢 栄子	石森 二三子	塩田 幸三子	真弓 福代	石井 初子	大和田 八ナ子	大野 ヤイ子	野崎 真知子	引率者	永林 正典
----------	--------	-------	--------	--------	-------	-------	---------	--------	--------	-----	-------



真弓 福代さん (蒜生)

#### 「言葉は通じませんが踊りで心と心が通じ合えた」

私たちが交流した瑞田村婦人部の方々は、赤い靴に黒いスパッツ、ピンクのシャツのお揃いで私たちを迎えてくれました。「何日君再来」と「山地迎賓舞」という踊りを教えてくれた婦人の方々は、とても親切で明るい人たちばかりでした。お互いに言葉は通じませんが、踊りで心と心が通じ合えたと思います。今までは経験したことのない貴重な体験が、感動となつて心に残っています。

また、昼食には婦人部の方々の手料理で鹿谷郷の特産「筍」を使った炒め物、スープ、ませご飯などをいただきました。

「好きになった人」を歌いながらの別れは、いつかまた会いたいという気持ちと重なり複雑な気持ちでした。



プレゼントした「クックちゃんTシャツ」を着て、ダンス交流参加者と記念写真

### 産 業 交 流

参加者(13人)  
 小針 政 治  
 鈴木 信 四 郎  
 大越 喜 昭  
 添田 田 意  
 境田 孝 郎  
 須藤 一 郎  
 宗形 菊 男  
 大谷 和 久  
 瀬谷 善 利  
 円谷 五 男  
 真弓 三 男  
 塩沢 邦 章  
 引率者 田 四 郎



須藤 一郎さん (川辺)

「自分たちで良い物をつくって売ろう」という意気込みを感じた」

私は仕事の関係から、農業面で機械化はど  
うなっているのか興味がありました。研修の中  
で分かったのは、稲作の場合、機械は農家が扱  
うのではなく、軍の食糧部隊が扱うという事  
です。日本との違いに驚くと同時に、台湾には兵  
隊があることを再認識し  
た思いがします。ただ直接  
農業用の機械が見れなかつ  
たのが残念でした。  
生産物の販売、出荷は農会  
を通すのもあったみたい  
ですが、ほとんど生産者自ら  
販売経路を見つけ出し売  
るそうです。そのため、より良い物  
をつくらうという生産意欲も  
強く感じました。



実際の農作業を見ること  
や、若い人たちとの交流が  
できれば、農業に対する鹿  
谷郷の人たちの考えなど  
が、もう少し分かったと思  
います。

### 教 育 交 流

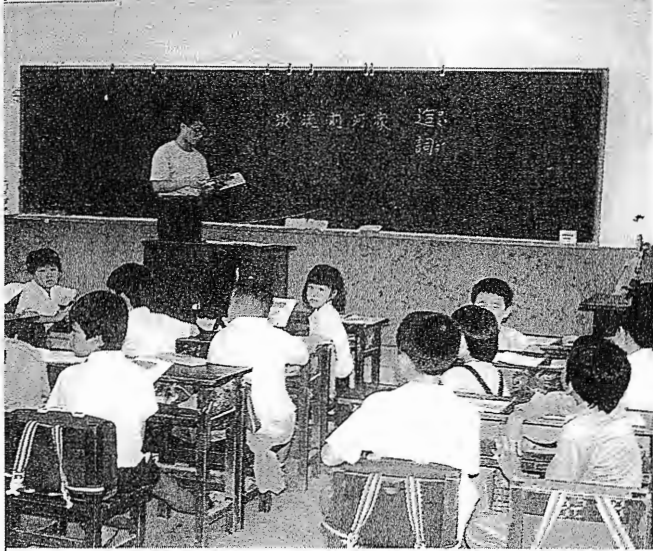
参加者(9人)  
 大竹 照 夫  
 関根 庄 八  
 石井 政 博  
 高宮 治 男  
 安村 文 雄  
 吉藤 ミサヲ  
 首藤 一 喜  
 吉田 常 政  
 引率者 矢 部



関根 照夫さん (須釜中校長)

「人づくりに力を入れている台湾はいつか、すばらしい国になる」

教育交流では秀峰小学校と瑞峰中学校の二  
校を訪問しました。特に印象に残ったことは、  
一、両校とも始業式当日の忙しい中でしたが、  
全校をあげて歓迎してくれた  
二、国造りの基本を教育に置き、官民あけて  
力を入れ、生徒も教職員も熱  
心に取り組んでいる  
三、週五日制についての質問  
があるなど、日本の教育に強  
い関心を持っていて、日本に  
学ぼうとしている  
四、教育制度は日本と同じ6  
33制だが、12年にしようと  
いう動きがある  
五、河川を守るため、中学校  
を中心とした「栄生会」があ  
り、学校と地域が協力して環  
境保全に力をつけている  
このように、人づくりに力  
を入れている台湾は、近い将  
来すばらしい国に発展すると  
感じました。



力を入れ、生徒も教職員も熱  
心に取り組んでいる  
三、週五日制についての質問  
があるなど、日本の教育に強  
い関心を持っていて、日本に  
学ぼうとしている  
四、教育制度は日本と同じ6  
33制だが、12年にしようと  
いう動きがある  
五、河川を守るため、中学校  
を中心とした「栄生会」があ  
り、学校と地域が協力して環  
境保全に力をつけている  
このように、人づくりに力  
を入れている台湾は、近い将  
来すばらしい国に発展すると  
感じました。



まずは、全員でラジオ体操



力が入りました綱引き大会



飛行場の安全を祈願して、念仏踊りを披露

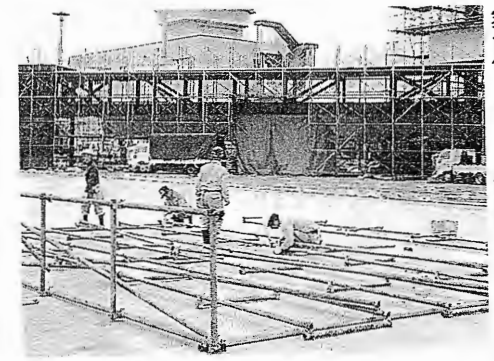
## 福島空港開港記念 10月4日 最初で最後の大運動会

来年3月に開港する福島空港  
を舞台に「玉川村民大運動会」  
が開かれました。  
大会には予想を上回る大勢の  
人たちが参加し、綱引き競技や  
ウルトラクイズ・マラソンなど  
の競技を楽しみました。  
もう二度とはできない、最初  
で最後の空港開港記念村民大運  
動会の一部を写真で振り返つて  
みます。

カラオケ大会にはお花も



舞台作りなどは村建設業協会の方々に協力していただきました



小学校のパレードは、大会を盛り上げました



角田ミセさん (92歳) 中  
「家の周りを散歩する。三度の食事をきちんと食べる。自分でつくった薬草酒を飲んでた。」



大野ゼキさん (92歳) 南須釜  
「耳が少し遠くなったせい口数が少ない。おかげを1日2回食べる。昔から卵が好物。」



小林イネさん (92歳) 中  
「毎日曾孫のおやつを買いに歩いて行く。病気が知らず食欲が盛。気を張ることが元気の源。」

90歳以上  
お年寄り  
25人



小林ハルヨさん (91歳) 電崎  
「曾孫と遊ぶ。隣の家に牛乳をとり歩いて行く。外にいることが多い。三食きちんととる。」



車田ワキさん (91歳) 小高  
「フロタき。草むしり。チャボの世話をする。自分で買い物もする。選挙には必ず行く。」



森儀雄さん (91歳) 吉  
「散歩は毎日。たまに鎌や鋏をもつて畑へも。三度の食事をきちんととり魚と卵が好物。」



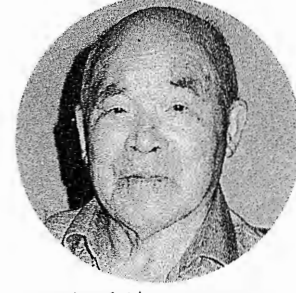
車田カネさん (91歳) 小高  
「食事、洗たく等自分のことは全部自分で。毎日、あやとりと風船ふくらましをやる。」



吉田綱義さん (90歳) 川辺  
「鎌を持って畑の見回りや草刈りをする。好き嫌がなく何でも食べる。『お酒、が好物?』」



小針チンさん (91歳) 小高  
「フロタきや草刈り、畑仕事も手伝う。朝4時頃には起きて雑きんかけ。節のものを食べる。」



小針千次さん (91歳) 中  
「朝5時には起きる。好き嫌がなく三食きちんととる。野菜を多く食べる。晩しゃくを8勺。」



野崎ツジさん (91歳) 川辺  
「散歩がてらに友だちの家まで歩いて行く。魚が好物。50歳くらいから牛乳を毎日飲んでいる。」



石森子工さん (90歳) 山小屋  
「好き嫌がなく何でもよく食べる。おやつも少々。病気が知らず。コタツで過ごす毎日。」



円谷房次さん (90歳) 南須釜  
「生き物の世話が好きでチャボや小鳥を手入れしている。歯が丈夫で魚や肉を食べる。」



佐藤吉一さん (90歳) 電崎  
「耳が少し遠くなったが、病気が知らず薬も飲んでいない。散歩を毎日。食事は日に三度。」



高橋兼嘉さん (90歳) 川辺  
「若いときに胃が悪かったので、ものをよくかんで食べるのが習慣になっている。小食。」

# お元気です

玉川村の90歳以上の方々は9月15日現在で25人です。村では9月15日の敬老の日を前に9月7日・10日・11日の3日間、村長がそれぞれのお宅に何つて記念品を贈りました。  
明治・大正・昭和そして平成と激動の時代を生きぬいてきた方々が、最近の暮らしの様子や長生きの秘訣を話してくれましたので紹介します。  
(熊田すみさんは都合が悪くお話をうかがえませんでした)



村の女性で最高齢者  
関根キヨさん (98歳・北須釜)

「明治27年7月3日生まれ」とはつきりした口調で、私たちに自分の生年月日を教えてくれました。日に三度はきちんと食事をとり好き嫌いはありません。  
「コタツの座椅子でネコをかわいがる毎日を過ごしています。」



村の男性で最高齢者  
佐久間倉蔵さん (95歳・岩法寺)

「最近では自転車乗れねナイ」とニコニコしながら話す倉蔵さん。バランスさえとれば、まだ乗れそうな勢いです。パンが好物で薬は飲んでいません。  
「長生きの秘訣はこの問いに『これだナイ』と、お酒を飲む手ぶりで答えてくれました。」



有賀ミチさん (97歳) 南須釜  
「手先をつかってハルビを作っている。自分の衣服は自分で管理。くよくよしないこと。」



八木キヨさん (96歳) 南須釜  
「早起きをして玄関の掃除。好き嫌がなく何でも食べる。若い時によく働いた。」



関根ソノさん (95歳) 北須釜  
「寝ていることが多くなったが目も耳も達者。三度の食事をきちんととる。のりが好物。」



車田シノさん (92歳) 小高  
「コタツで寝ていることが多くなったが、食事は自分でとる。身の周りのことは自分です。」



大越サダさん (93歳) 南須釜  
「家の周りの草刈りをする。鎌をきれいに研ぎ、大切に使う。好き嫌がなく何でも食べる。」



三瓶トモさん (93歳) 川辺  
「目と足が少し不自由になったが家の中を歩く。三度の食事をきちんととる。野菜が好き。」

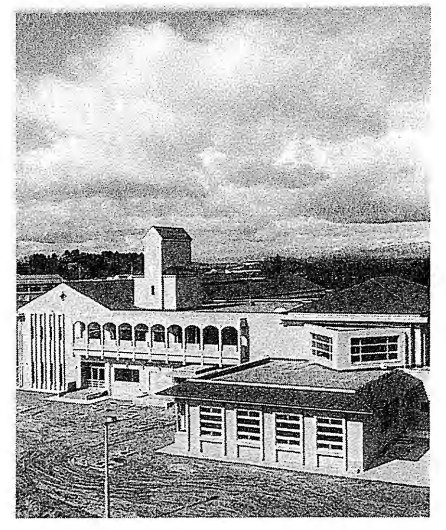


石森クマさん (95歳) 岩法寺  
「自分で身仕たく。豆、かぼちゃが好物で牛乳を毎日飲む。クマさんを頭に兄弟7人全員元気。」

財政公表

平成3年度  
一般会計

決算状況



平成3年度の一般会計と特別会計の決算が、9月定例議会で承認されました。そのあらましをお知らせいたします。

1人当りに使われたお金  
495,130円

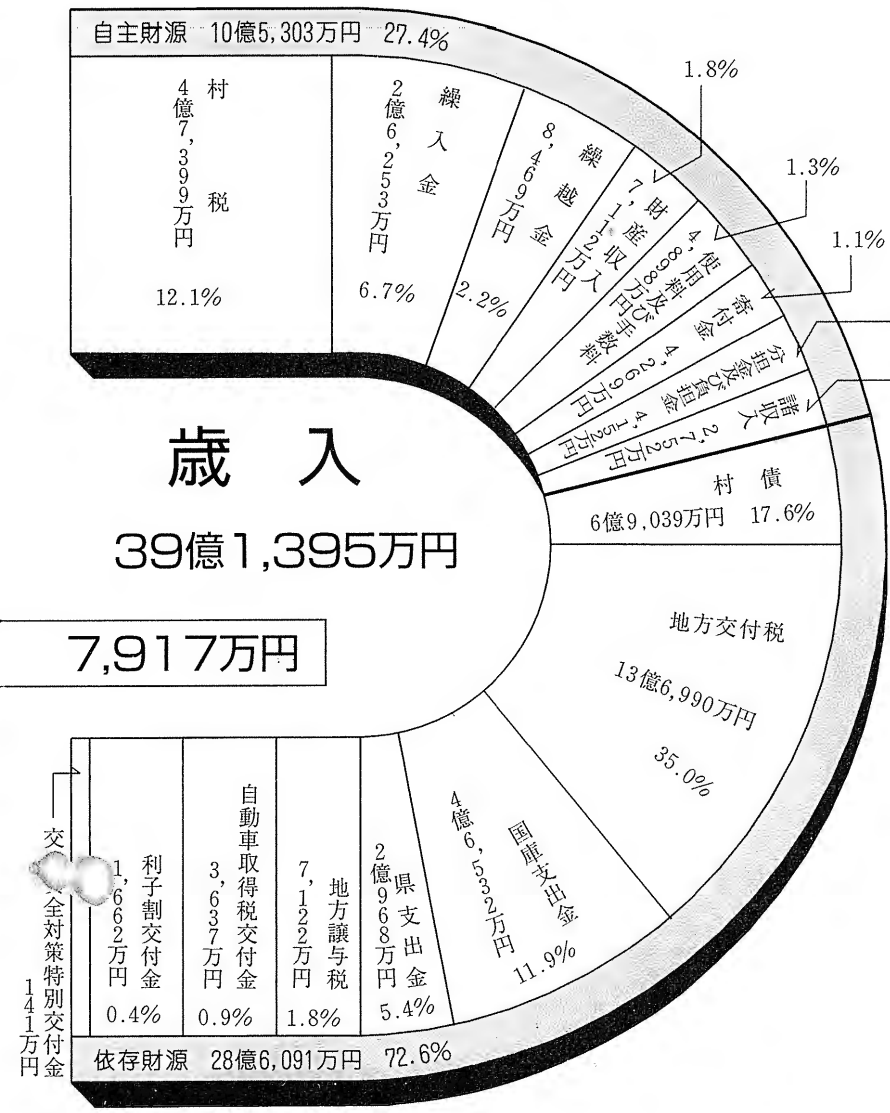
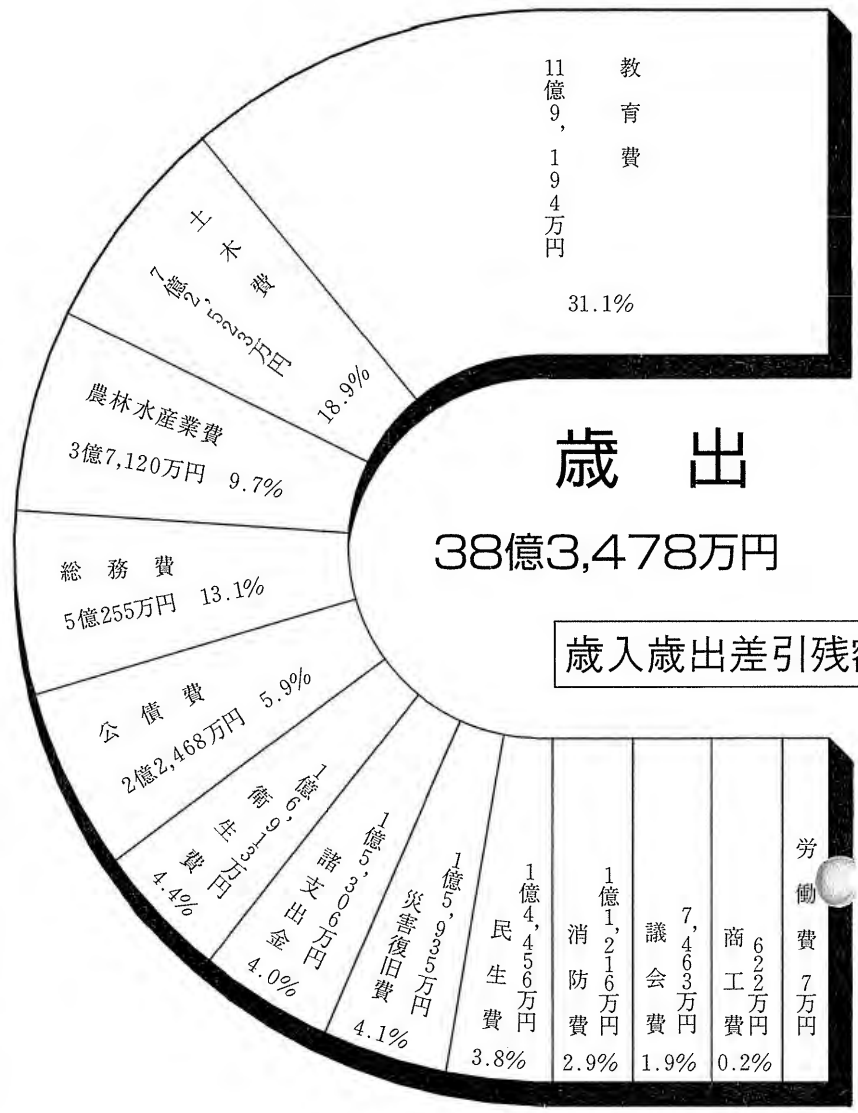
教育費	153,898円
土木費	93,639円
総務費	64,888円
農林水産業費	47,928円
公債費	29,009円
衛生費	21,837円
災害復旧費	20,575円
諸支出金	19,763円
民生費	18,664円
消防費	14,481円
議会費	9,636円
商工費	803円
労働費	9円

平成3年度主な建設事業  
補助事業 9億 93万円

事業名	決算額
須釜中学校校舎建築事業	3億6,035万円
泉中学校屋内運動場建築事業	1億8,120万円
公営住宅建設事業	9,206万円
地方道改修事業	4,600万円
雪寒地域道路事業	4,000万円
団体営農道整備事業	6,201万円
公共土木施設災害復旧事業	1億1,931万円

単独事業 6億3,707万円

事業名	決算額
須釜中学校校舎建築事業	1億8,466万円
泉中学校屋内運動場建築事業	1億2,682万円
空港関連道路整備事業	1億8,810万円
非補助土地改良事業	3,162万円
新農山漁村特別対策事業	1,477万円
県単林道整備事業	1,079万円
地域開発農林業対策事業	5,522万円
消防施設整備事業	1,440万円
県単土地改良事業	1,063万円



歳出  
38億3,478万円

歳入  
39億1,395万円

歳入歳出差引残額 7,917万円

一般会計決算の推移

61	19億5,895万円
62	23億7,993万円
63	25億9,258万円
元	30億2,180万円
2	37億4,069万円
3	38億3,478万円

1人当たりが納めた税金  
61,199円

- 村民税 26,774万円
- 固定資産税 29,355万円
- 軽自動車税 1,237万円
- たばこ税 3,833万円

平成4年3月31日現在  
人口 7,745人

決算収支

平成3年度の一般会計歳入歳出決算額は、歳入総額39億1,395万円、歳出総額38億3,478万円、差引残額(形式収支)7,917万円となり、繰越明許分を除くと実質収支は7,915万円となりました。前年度と比べると歳入で2.3%の増、歳出で2.5%の増になります。

歳入

前年度よりも22%の増

平成3年度一般会計の歳入決算額は、39億1,395万円。前年度に比べ8,857万円多い2.3%の増となっています。主要内容は地方交付税が7.6%の増となり歳入全体の35%を占めています。県支出金は約53%の減となりましたが、国庫支出金は約62%の増となっています。また、村民税は今年度は15.7%の増となりました。これに村民税の増等が加わり全体で2.3%の微増となりました。

72.6%が依存財源

歳入決算額を自主財源と依存財源に分けると、自主財源が全体の27.4%で前年度より0.9%上回っています。要因は、村税等の増加です。また、依存財源は前年度を0.9%下回ったものの全体の72.6%を占めています。

歳出

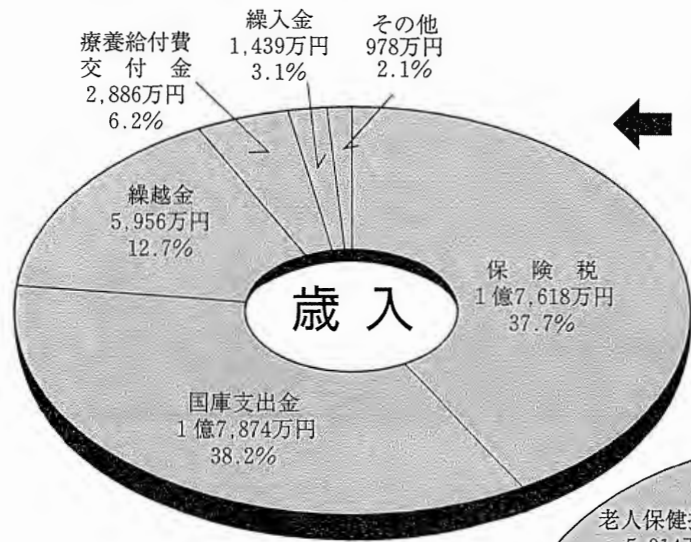
歳出決算の総額は、38億3,478万円。前年度に比べ9,409万円多い2.5%の微増となっています。特に教育費は中学校建設事業等により約10%の増で歳出全体の31.1%を占めます。農林水産業費は約32%の減ですが全体の9.7%、土木費も約11%の減ですが、全体の約18.9%を占めます。



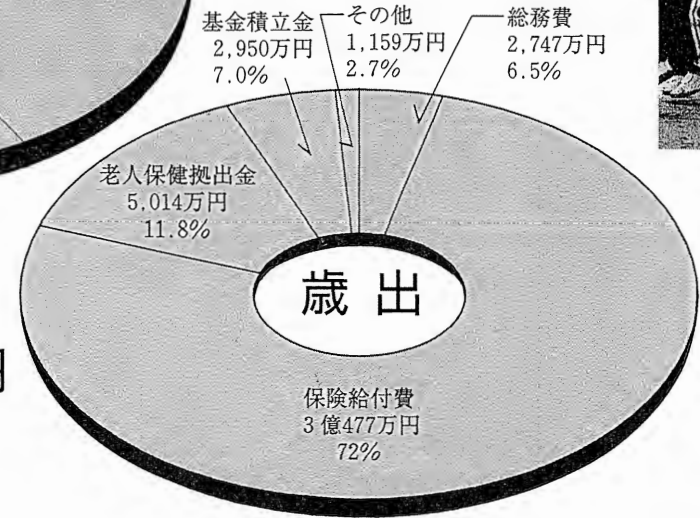


# 国民健康保険特別会計

← 歳入  
4億6,751万円



歳出 →  
4億2,347万円

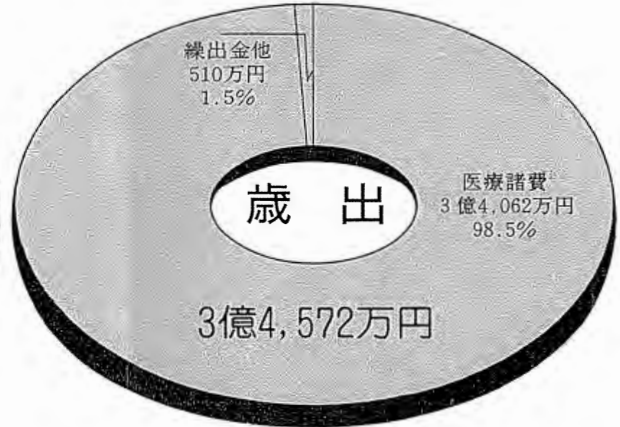
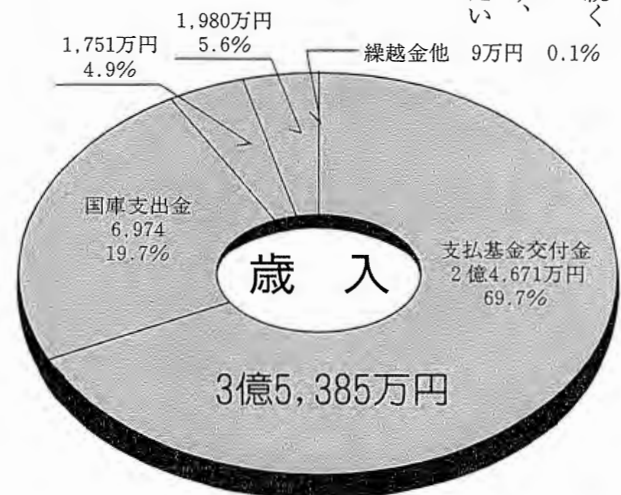


# 老人保健特別会計

一人当り医療費は  
45万7,793円

平成3年度の医療諸費は3億4,062万円の前年度に比べると21%の増となっています。これは主に受給者の増と入院費用の増によるもので、平成3年度の平均受給者数は742人で前年度よりも46人多くなっています。

また、一人当りの医療費は45万7,793円で前年度より13.8%も伸びています。一人当りの医療費が増え受給者も増える傾向は、今後も続くと予想されます。計画的に医師の診療を受け、限りある医療費を大切にしたいものです。



## 医療費に見る被保険者数と保険税の推移

年度	医療費国保負担 元	1人当りの保険税額(現年度分)	
		保険税額	被保険者数
63	330,278,640円 (100.3%)	47,773円	3,407人
元	324,280,210円 (98.4%)	56,795円	3,121人
2	304,130,128円 (92.3%)	56,125円	2,857人
3	299,937,709円 (98.6%)	56,339円	2,655人

( )は63年度を100とした比率

## 被保険者と保険税

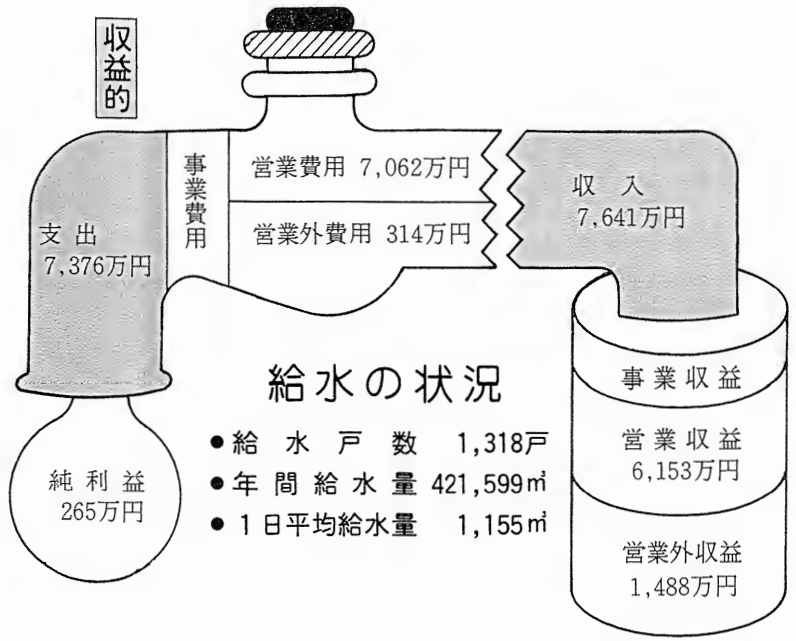
- 国保加入世帯 960世帯
  - 被保険者数(老人を除く) 2,655人
  - 1世帯当たりの保険税 182,867円
  - 1人当たりの保険税 56,339円
- ※年間平均の数字です。

## 保険給付費内訳

- 3億4,777万円
- 療養給付費(保険者7割負担分) 16,931件 2億6,912万円
  - 療養費 (コルセット、柔道整復師など) 278件 125万円
  - 高額療養費 397件 2,956万円
  - 助産費 17件 221万円
  - 葬祭費 36件 144万円
  - 審査支払手数料 119万円

# 水道事業会計

1日1人当たり給水量は  
209.4ℓ



平成3年度玉川村広域簡易水道事業会計の大きな特徴は、資本的支出の建設改良費が3億8,012万円と前年度の約3.2倍になったことです。これは、第一次拡張事業で、大谷地水源地、同ポンプ場及び細田配水池等の施設の整備を行ったためです。これにより、平成4年度から分水ができるようになりました。

## 資本的

収入	金額
企業債	2億3,600万円
一般会計補助金	2,000万円
負担金	8,713万円
補償金	2,310万円

支出	金額
建設改良費	3億8,012万円
企業債償還金	467万円



国保税・一世帯当たり  
18万2千円を負担

平成3年度の国民健康保険特別会計の決算状況をみると、歳入総額4億6,751万円、歳出総額4億2,347万円、差引4,404万円の黒字決算となっています。

歳入の中の大きな財源は国庫支出金と国民健康保険税です。前年度と比べると全体で2,165万円、約4%の減となっています。これは被保険者数の減が主な要因で、保険税が5%国庫支出金が16%の減となっています。

被保険者数は年々大きな減少傾向にあります。この傾向に比べると保険給付費も減少はしているものの、ほんのわずかで村民一人一人が健康管理に対する自覚を高め、疾病の予防に努めたいものです。

歳出では保険給付費(病気やけがで医師にかかる場合に支払われるお金)が3億4,777万円、次に老人保健医療費拠出金が5,014万円、この二つで全体の84%を占めます。年間医療費は一人当たり11万2,970円で前年度と比べると約6,520円の増になっています。

### むらのできごと

## 東野の清流をより美しく

地元の人たちが奉仕作業 9/20

四辻新田字東野地内にある「東野の清流」の下刈り奉仕を地元の愛林組合や区役員のみなさんが中心となって行いました。

この作業は福島民報社主催の「ふくしまの水」百選に選ばれたのを機に、清流周辺をより美しくしようと行われたものです。



**東京精工(株)が  
図書券を寄贈** 9/16  
東京精工株式会社から村に図書券十万円の寄付がありました。  
同社は平成二年に村内各小中学校に創立二十周年記念事業として「東京精工文庫」を設置しており、その継続事業として毎年創立記念日の九月十六日に寄付を行っています。

### むらの話題

## 今年もおもしろがったナイ

平成4年度 敬老会 9/15

平成四年度の玉川村敬老会が九月十五日(敬老の日)に玉川村体育館で行われました。式には村内の七十五歳以上のお年寄り四百二十四人が招待され、そのうち約三百五十人が出席しました。車田村長が式辞を述べた後に、各種記念品を贈呈。その後、婦人会の皆さんによる踊りや劇が披露されると会場からは大きな拍手がおくられました。特に南須釜婦人会による「井戸堀り五平が酒になる」の劇の演技は素晴らしく、涙ながらに見るお年寄りもいました。



## サルナシワインを空港で

収穫は0.5トンを見込む 9/21

ふるさと産品として開発を進めているサルナシの実の収穫が、塩田勝利さん(四辻新田)などのサルナシ畑で行われました。  
今年の収穫は約0.5トンを見込んでおり、全量を業者に委託してワインにします。  
来年3月の福島空港開港時には、サルナシワインで乾杯ができそうですね。



## ジャコランダ会が 泉郷駅の環境整備

9/19

平成2年度のふるさと創生海外派遣研修でオーストラリアを訪問した人たち(17人)で組織しているジャコランダ会が、泉郷駅で環境整備の奉仕活動を行いました。作業には17人全員が出席し、ホームの草刈りやトイレの壁のペンキ塗り替えに汗を流しました。会長の飯島三郎さんは「オーストラリアで印象に残っているのは、とにかくゴミがない美しい街並み。玉川村も福島空の玄関口として、きれいにしたいですね」と話していました。



## 福島空港をハガキでPR

9/25

玉川郵便局から  
絵入りハガキの寄贈

東北郵政局では、福島県をPRするために絵入りハガキ五枚セット「ふくしまの詩」を作成しました。  
この初刷ハガキが玉川郵便局を通して村に贈られ、村長室で贈呈式が行われました。

ハガキには福島空港のターミナルビルと滑走路が描かれたものもあり、福島空港のPRにも一役買いそうです。  
ハガキは五枚セットで三百十円、また色紙は一部千円で販売されています。

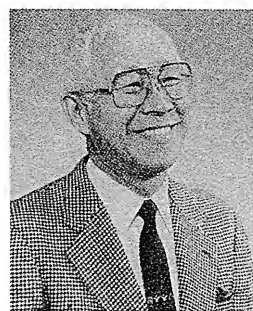


## 新潟から玉川村へ

交通安全の風せん 9/4

吉地区の森 儀秋さん宅の庭先に、新潟から交通安全の赤い風船が届きました。風船を飛ばしたのは新潟県北魚郡守門村の守門中学校2年生、石田純子さん。風船には「私達は、道路にとび出しません」と誓いのことばが書かれています。森さんは、さっそく手紙を書き、返事がくるのを楽しみに待っています。





■著者紹介■

萩原 茂裕 (はぎわら しげひろ)  
 1929年北海道旭川市生まれ。慶応義塾大学経済学部卒業。経営コンサルタント時代から地域開発・ふるさとづくりを手がける。現在、「日本ふるさと塾」を主宰し、まちづくりのプランナーとして、数多くの地方公共団体の地域づくり基本計画、実施計画などの策定に携わる。蓮沼門三社会教育賞受賞。著書に「手づくりのふるさと」、「日本人とまちづくり」、「レッツ・ラブ運動の展開」、「第四の教育～ふるさと教育～」などがある。

子供や孫への「贈り物」  
**お互いの力でまちづくり ⑱**

「第四の教育」を  
**進めよう ①**

自分のふるさとを  
 言いたがらない

「学校教育」「家庭教育」「社会教育」が教育の三本の柱だといえます。教育はすべてこの三つに含まれているはずですが、足りないものがあります。それは「ふるさと教育」です。三つの中にあるはずなのに無いに等しい。私は「ふるさと教育」を入れて、教育の四つの柱を立てたいと思います。「第四の教育・ふるさと教育」です。

私は仕事も含めて、年間の半分以上を、全国津々浦々のまちに出かけています。そんな旅行の途中で、電車やバスの中で隣り合わせた人に声をかけることにしています。その人のふるさとを話聞きたいからです。

ところが、自分のふるさとを自慢して語ってくれる人は、極めて少ないのです。大きなまちに住んでいる人は、ためらうことなくまちなをいいますが、これが小さな村だと口ごもり、

近くにある大きなまちなを答えてごまかしてしまうのです。悲しいことだと思わざるをえません。

長野県に野沢温泉村という人口四千八百人余りの小さな村があります。この村については前にも触れましたが、村おこしの材料として、村民たちが力を合わせてスキー場を造ったことで知られています。そして、自分たちで造ったスキー場を、そっくり村へ寄付し、村営のスキー場にしました。これが予想もしなかった成果を上げ、いまや日本一豊かな村だといわれるようになりました。

そればかりではありません。野沢温泉村の素晴らしいところは、その次のステップでした。村民のみなさんがスキーを習ったのです。とりわけ子供たちに、徹底してスキーを教えました。これは、よそではなかなかできません。スキー場があっても、ふもとに住んでいる人は、スキーのできない人がたくさんいる所が多いのですから、子供たちにスキーを教えた結

果、この村にはオリンピック出場経験者が八人、ワールドカップ世界選手権出場者が約二十人、そして、さまざまな競技会のタイトル保持者が、九十人以上もいます。人口比率でいえば世界一だそうです。

野沢温泉村にいつて驚くのは、子供たちの顔が輝いて見えることです。「きみは、この村が好きですか?」と尋ねると、どの子供も、「ハイ、この村がいちばん好きです」と、さわやかな答えがすぐに返ってくるのです。どんなに小さな村でも、何百年、いや何千年の歴史が培ってくれた風土があるのです。どんなに人口が少なくとも、日本に一つしかないのだと、子供のころからふるさとを愛する心をはぐくむことが、真のまちづくりの原点になるのだと思います。

ほかのまちなにはマネのできないふるさと——堂々と胸を張ってその名をいえるようにすることが、いまこそ必要な気がしてならないのです。



果、この村にはオリンピック出場経験者が八人、ワールドカップ世界選手権出場者が約二十人、そして、さまざまな競技会のタイトル保持者が、九十人以上もいます。人口比率でいえば世界一だそうです。

野沢温泉村にいつて驚くのは、子供たちの顔が輝いて見えることです。「きみは、この村が好きですか?」と尋ねると、どの子供も、「ハイ、この村がいちばん好きです」と、さわやかな答えがすぐに返ってくるのです。どんなに小さな村でも、何百年、いや何千年の歴史が培ってくれた風土があるのです。どんなに人口が少なくとも、日本に一つしかないのだと、子供のころからふるさとを愛する心をはぐくむことが、真のまちづくりの原点になるのだと思います。

ほかのまちなにはマネのできないふるさと——堂々と胸を張ってその名をいえるようにすることが、いまこそ必要な気がしてならないのです。

果、この村にはオリンピック出場経験者が八人、ワールドカップ世界選手権出場者が約二十人、そして、さまざまな競技会のタイトル保持者が、九十人以上もいます。人口比率でいえば世界一だそうです。

野沢温泉村にいつて驚くのは、子供たちの顔が輝いて見えることです。「きみは、この村が好きですか?」と尋ねると、どの子供も、「ハイ、この村がいちばん好きです」と、さわやかな答えがすぐに返ってくるのです。どんなに小さな村でも、何百年、いや何千年の歴史が培ってくれた風土があるのです。どんなに人口が少なくとも、日本に一つしかないのだと、子供のころからふるさとを愛する心をはぐくむことが、真のまちづくりの原点になるのだと思います。

ほかのまちなにはマネのできないふるさと——堂々と胸を張ってその名をいえるようにすることが、いまこそ必要な気がしてならないのです。

果、この村にはオリンピック出場経験者が八人、ワールドカップ世界選手権出場者が約二十人、そして、さまざまな競技会のタイトル保持者が、九十人以上もいます。人口比率でいえば世界一だそうです。

野沢温泉村にいつて驚くのは、子供たちの顔が輝いて見えることです。「きみは、この村が好きですか?」と尋ねると、どの子供も、「ハイ、この村がいちばん好きです」と、さわやかな答えがすぐに返ってくるのです。どんなに小さな村でも、何百年、いや何千年の歴史が培ってくれた風土があるのです。どんなに人口が少なくとも、日本に一つしかないのだと、子供のころからふるさとを愛する心をはぐくむことが、真のまちづくりの原点になるのだと思います。

ほかのまちなにはマネのできないふるさと——堂々と胸を張ってその名をいえるようにすることが、いまこそ必要な気がしてならないのです。

果、この村にはオリンピック出場経験者が八人、ワールドカップ世界選手権出場者が約二十人、そして、さまざまな競技会のタイトル保持者が、九十人以上もいます。人口比率でいえば世界一だそうです。

野沢温泉村にいつて驚くのは、子供たちの顔が輝いて見えることです。「きみは、この村が好きですか?」と尋ねると、どの子供も、「ハイ、この村がいちばん好きです」と、さわやかな答えがすぐに返ってくるのです。どんなに小さな村でも、何百年、いや何千年の歴史が培ってくれた風土があるのです。どんなに人口が少なくとも、日本に一つしかないのだと、子供のころからふるさとを愛する心をはぐくむことが、真のまちづくりの原点になるのだと思います。

ほかのまちなにはマネのできないふるさと——堂々と胸を張ってその名をいえるようにすることが、いまこそ必要な気がしてならないのです。

果、この村にはオリンピック出場経験者が八人、ワールドカップ世界選手権出場者が約二十人、そして、さまざまな競技会のタイトル保持者が、九十人以上もいます。人口比率でいえば世界一だそうです。

野沢温泉村にいつて驚くのは、子供たちの顔が輝いて見えることです。「きみは、この村が好きですか?」と尋ねると、どの子供も、「ハイ、この村がいちばん好きです」と、さわやかな答えがすぐに返ってくるのです。どんなに小さな村でも、何百年、いや何千年の歴史が培ってくれた風土があるのです。どんなに人口が少なくとも、日本に一つしかないのだと、子供のころからふるさとを愛する心をはぐくむことが、真のまちづくりの原点になるのだと思います。

ほかのまちなにはマネのできないふるさと——堂々と胸を張ってその名をいえるようにすることが、いまこそ必要な気がしてならないのです。

果、この村にはオリンピック出場経験者が八人、ワールドカップ世界選手権出場者が約二十人、そして、さまざまな競技会のタイトル保持者が、九十人以上もいます。人口比率でいえば世界一だそうです。

野沢温泉村にいつて驚くのは、子供たちの顔が輝いて見えることです。「きみは、この村が好きですか?」と尋ねると、どの子供も、「ハイ、この村がいちばん好きです」と、さわやかな答えがすぐに返ってくるのです。どんなに小さな村でも、何百年、いや何千年の歴史が培ってくれた風土があるのです。どんなに人口が少なくとも、日本に一つしかないのだと、子供のころからふるさとを愛する心をはぐくむことが、真のまちづくりの原点になるのだと思います。

ほかのまちなにはマネのできないふるさと——堂々と胸を張ってその名をいえるようにすることが、いまこそ必要な気がしてならないのです。

対象となる寝具は、掛ふとん、敷ふとん、毛布で、経費は全額村が負担します。

年2回(6月・11月)民間の業者に委託して事業を行っています。

詳しくは、役場住民課福祉係まで。

個人で事業を行っている人に課税される個人事業税の第2期分の納期限は11月30日です。県税事務所から送付される納税通知書により最寄りの金融機関で納めてください。

納める場合は、便利な口座振替制度もありますので、県税事務所または金融機関にお申し込みのうえ、ご利用下さい。

なお、今回、口座振替制度の利用を申し込むと来年度の第1期分から口座振替となります。

(福島県郡山県税事務所)

みなさんも既にご承知のように国や県の機関では土曜閉庁により完全週休2日制を実施しています。

玉川村でも平成4年11月1日から土曜日は閉庁となりますので保育所等を除く村の機関は、原則として事務を行いません。

なお、戸籍に関する届出(婚姻届、出生届、死亡届等)は受理いたします。

ご理解とご協力をお願いいたします。



すがま幼稚園運動会

くらしの情報

県有財産を売り払います

次のとおり県有財産を一般競争入札により売り払いますので、ご希望の方はご参加下さい。

売却物件	入札の日時	入札の場所
岩瀬郡鏡石町大字笠石字中央24 宅地 284.33㎡	平成4年11月17日(火) 午後1時30分 (受付1時から)	白河市字昭和町269 福島県白河合同庁舎
西白河郡西郷村大字小田倉字上野原374 宅地 377.99㎡	平成4年11月18日(水) 午前9時30分 (受付9時から)	
西白河郡西郷村大字小田倉字上野原379 宅地 681.37㎡	平成4年11月18日(水) 午後1時30分 (受付1時から)	

申込受付期間 平成4年10月23日  
 申込受付場所及び問い合わせ先 福島県総務部管財課  
 〒960 福島市杉妻町2-16  
 ☎ 0245(21)1111 内線2245  
 直通 0245(21)7075

泉保育所で入所児  
 (4才児のみ)募集

泉保育所では、平成4年度の入所児で4歳児(平成4年4月1日現在)に余裕があるため、若干名募集します。

詳しくは役場住民課(☎57-3101内線27)までお問い合わせください。

NHK学園で  
 学習を

NHK学園では、秋の生涯学習講座受講生を募集しています。

▽生涯学習講座(通信講座)  
 教養と趣味を深めるための書道、硬筆、俳句など73講座です

▽受付 10月31日まで

▽問い合わせ先 〒186-01東京 都国立市富士見台2-136「NHK学園8E52係」  
 ☎0425-72-3151

青年海外協力隊  
 募集説明会を開催

日時 11月11日(水)午後6時30分～午後8時30分

場所 郡山市中央公民館

内容 派遣のシステムや待遇等について説明。協力隊広報映画の上映と体験発表。入場料、予約等は不要です。お気軽にどうぞ。

問い合わせ先 福島県国際課交流推進係 ☎0245-21-7183

窓の福祉

ふとん乾燥事業

村では、寝たきり老人の快適な生活の確保と介護者の負担軽減のため、寝たきり老人の方々のふとんを消毒・脱臭・丸洗い乾燥する事業を行っています。

土曜閉庁

(玉川村の機関は11月からすべての土曜日が休みになります)



# 10月・11月の健康ごよみ

10月

17日(土) 畜犬登録及び狂犬病予防注射

21日(水) 母親教室 (保)  
午後1時30分～

30日(金) 3歳児健診 (保)  
午後1時～

11月

1日(日) 血压デー

13日(金) 乳幼児健康相談 (保)  
午前9時30分～  
乳児健診 (保)  
午後1時～

(保)：保健センター

## 今月の納税

国民年金保険料 10月分  
固定資産税 第2期分  
国民健康保険税 第4期分  
(納期限は10月26日です。  
忘れずに納めましょう。)

## 村のようす (4年9月1日現在)

 1,705戸 (+9)  
 7,680人 (+11)  
 3,796人 (+2)  
 3,884人 (+9)



## 寄付 ありがとうございます

左記の方々から社会福祉活動資金として寄附をいただきました。厚く御礼申し上げます。

● 小高の坂本房男さんから  
記  
二万円

(村社会福祉協議会)

● 小高の添田宗良さんから 二万円  
● 須釜婦人会南須釜支部から 一万円  
● 南須釜の我妻一夫さんから 十万円  
● 老会に際して

## お誕生おめでとう ございます



(9月届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
竜崎	小林優香	友晴
南須釜	塩澤千鶴	勇雄

## おくやみ 申し上げます

(9月届出分)

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
蒜生	添田由正	80	宗良
小高	坂本チカ	92	勝男
南須釜	我妻正	69	

## カタカナ語

● ポリグラフ：脳波・呼吸・脈などを同時に記録し、生理的な変化をグラフで表す装置。俗に「うそ発見器」  
● ミネラル・マンガン・カルシウム・コバルト・鉄などの無機質栄養素。  
● ノーマル：正常な、普通の

## 第6回村長杯ゴルフコンペ

# 参加者募集

※締め切りは10月30日です。

第6回村長杯親善ゴルフコンペを行いますので、ふるってご参加下さい。  
● 日時 平成4年11月13日(金)  
● 集合 午前8時  
● 午前8時35分スタート  
● 場所 福島石川カントリークラブ(東・中・西コース同時スタート)  
● 競技方法 18ホールストロークプレー、新ペリア方式  
● 会費 3,000円  
● 申込方法 村公民館へ会費を添えて  
● 申込期限 10月30日(金)まで